

# 「第5次上郡町総合計画」策定のための 全世帯アンケート結果（概要版）

平成27年1月

上郡町 企画政策課



# 「第5次上郡町総合計画」策定のための全世帯アンケート結果(概要版)

## 目 次

	ページ
1. 調査の概要	2
2. ご回答いただいた方々の属性	3
(1)性別	3
(2)年齢	3
(3)居住地	4
(4)職業	4
(5)家族構成	5
3. 総合計画策定のための質問	6
問1 今の上郡町の良いところ・良くないところ	6
問2 10年後の上郡町の理想像	9
問3 今後も住みたいか	10
問4 住みたい理由	11
問5 町外へ出たい理由	12
問6 各種サークル活動等への参加状況	14
問7 参加している活動内容	15
問8 参加しない理由	16
問9 老後の不安要因	17
問10 高齢社会への対応	18
問11 少子社会への対応	19
問12 保健・医療で望まれること	20
問13 教育・文化・レクリエーションで望まれること	20
問14 交通体系の整備	22
問15 上郡駅利用のために	23
問16 町内の整備・保全場所	24
問17 町情報の入手先	26

## 1. 調査の概要

### (1) 調査対象

町内の全世帯を調査対象とし、当該世帯の中の1名(16歳未満を除く)に記載してもらいました。

### (2) 調査方法と調査時期

平成26年7月、各自治会を通じ町広報誌配布に併せて、調査票を配布しました。

回答については、各自治会を通じて平成26年8月末期限で回収を行いました。

### (3) 回収結果

配布数	5,587
回収数	3,223
回収率	57.7%

回収率は、回収数÷配布数で算出しています。

なお、統計学的に有効な回答数は、上郡町の場合994以上(H26年3月末の16歳以上人口を基に計算)であり、今回の回答数3,223は十分に有効な回答数であると言えます(公益財団法人統計情報研究開発センター「統計実務基礎知識」ほか参照)。

### (4) 留意点

・構成比等は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%とならない場合があります。

・質問の中で「あてはまるものを2つまで」など、1人で複数の選択肢を回答してもよい設問については、全回答の合計が3,223を超えたり、比率も100%を超える場合があります。

・複数回答が可能な設問については、文中に有効回答者数を「n」として表しています。

## 2. ご回答いただいた方々の属性

### (1)性別

男女別でみると、全町人口にほぼ比例した回答割合となりました。

区分	1.男	2.女	未回答	計
実数	1,565	1,612	46	3,223
構成比	48.6%	50.0%	1.4%	100.0%
全町人口	48.5%	51.5%		100.0%

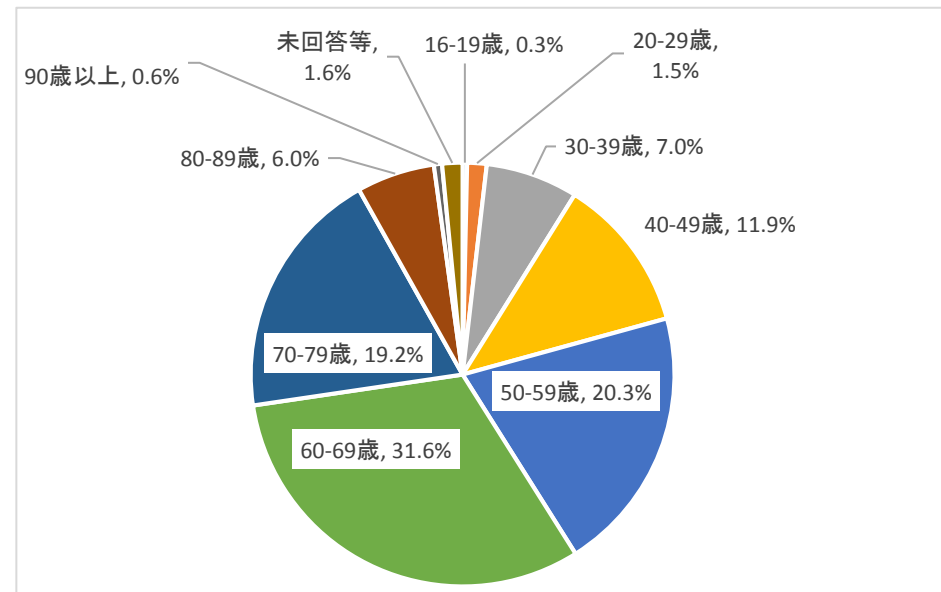
※「全町人口」は平成26年4月1日時点。

### (2)年齢

全町の人口構成に比べ、50～70歳代の回答が比較的多く、逆に10～30歳代、特に20歳代の回答が少ない結果となりました。

区分	16-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80-89歳	90歳以上	未回答等	計
実数	11	48	227	382	655	1,019	619	192	20	50	3,223
構成比	0.3%	1.5%	7.0%	11.9%	20.3%	31.6%	19.2%	6.0%	0.6%	1.6%	100.0%
全町人口構成	4.4%	9.9%	11.4%	12.9%	15.1%	20.3%	14.3%	9.5%	2.2%		100.0%

※回答・全町人口ともに、平成26年4月1日現在。



### (3) 居住地

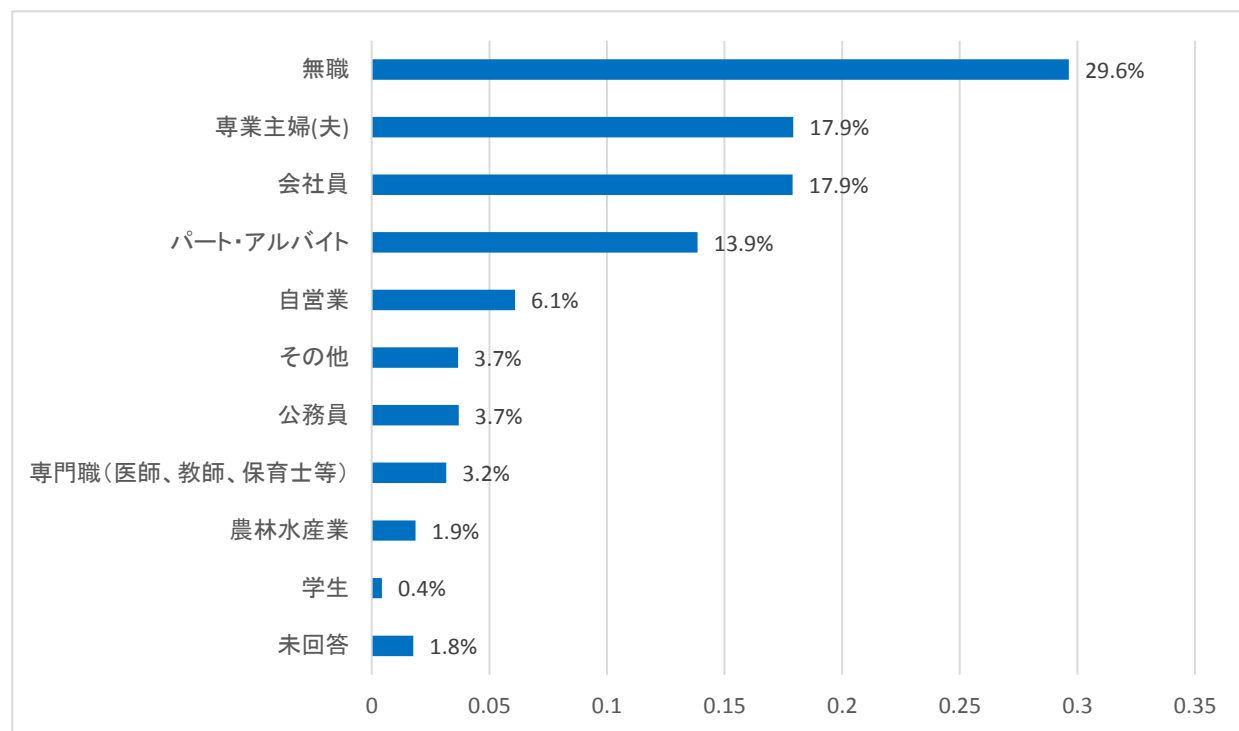
概ね地区別の配布数に比例した回答数となっており、山野里地区が約3割を占めていますが、光都地区のみ回答数が少なくなっています。

区分	1.上郡	2.山野里	3.高田	4.高田台	5.鞍居	6.赤松	7.船坂	8.梨ヶ原	9.光都	未回答	計
実数	442	966	378	463	277	298	266	81	1	51	3,223
構成比	13.7%	30.0%	11.7%	14.4%	8.6%	9.2%	8.3%	2.5%	0.0%	1.6%	100.0%
配布数	663	1,745	536	957	457	553	437	119	120		5,587
構成比	11.9%	31.2%	9.6%	17.1%	8.2%	9.9%	7.8%	2.1%	2.1%		100.0%

### (4) 職業

無職が約3割を占めて最も多く、次いで専業主婦(夫)、会社員、パート・アルバイトの順になりました。

区分	実数	構成比
無職	954	29.6%
専業主婦(夫)	577	17.9%
会社員	576	17.9%
パート	446	13.9%
自営業	196	6.1%
公務員	119	3.7%
その他	118	3.7%
専門職	102	3.2%
農林水産業	60	1.9%
学生	14	0.4%
未回答	57	1.8%
計	3,219	100.0%

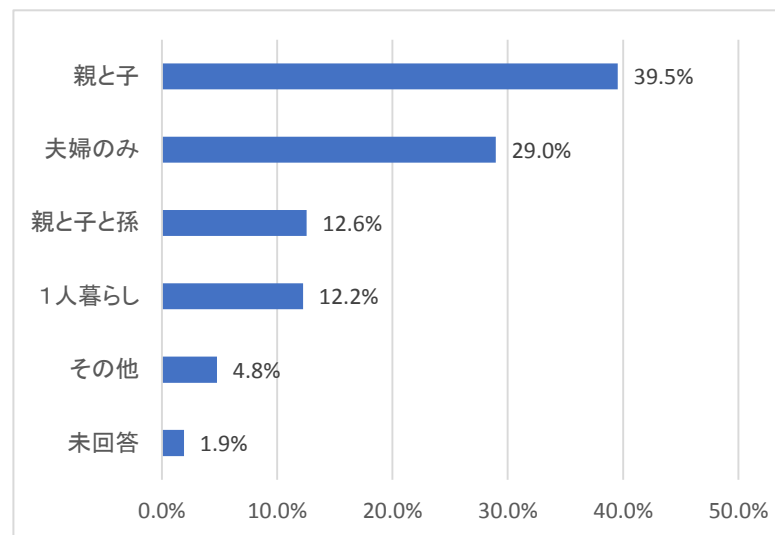


(5) 家族構成

(5)-1 あなたの家族構成は以下のうちのどれですか。  
(もっとも当てはまるもの1つ)

約4割が親子の二世帯、次いで夫婦のみが約3割となっています。

区分	実数	構成比
親子	1,273	39.5%
夫婦のみ	932	29.0%
親子と孫	404	12.6%
1人暮らし	394	12.2%
その他	154	4.8%
未回答	62	1.9%
計	3,219	100.0%

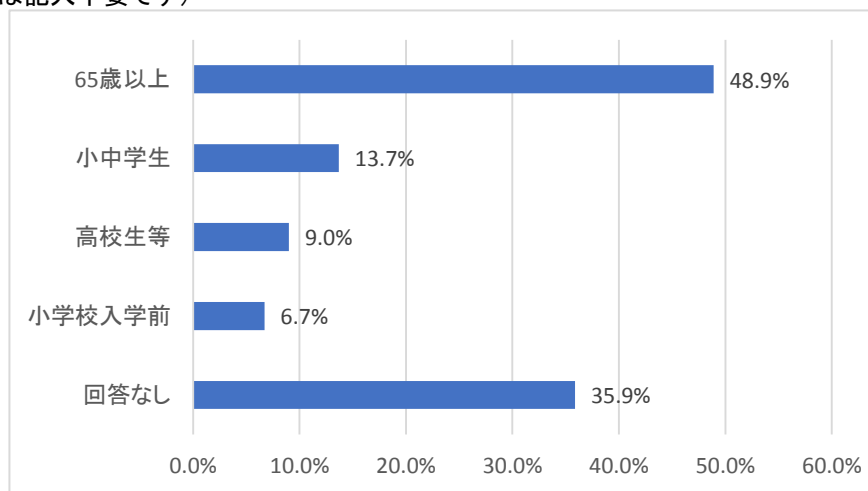


(5)-2 あなたの家族(一緒に暮らしている方、あなた自身も含む)に、次の方は含まれていますか？  
あてはまるものすべてを選んでください。(あてはまるものがない場合は記入不要です)

家族に65歳以上の方がいるという回答が約5割、小中学生がいるという回答は1割強となりました。

(n=3223)

区分	実数	比率
65歳以上	1,576	48.9%
小中学生	441	13.7%
高校生等	290	9.0%
小学校入学前	216	6.7%
回答なし	1,156	35.9%
計	3,679	



### 3. 総合計画策定のための質問

問1 あなたが思う今の上郡町の良いところ、良くないところを、それぞれ3つまで選んでください。

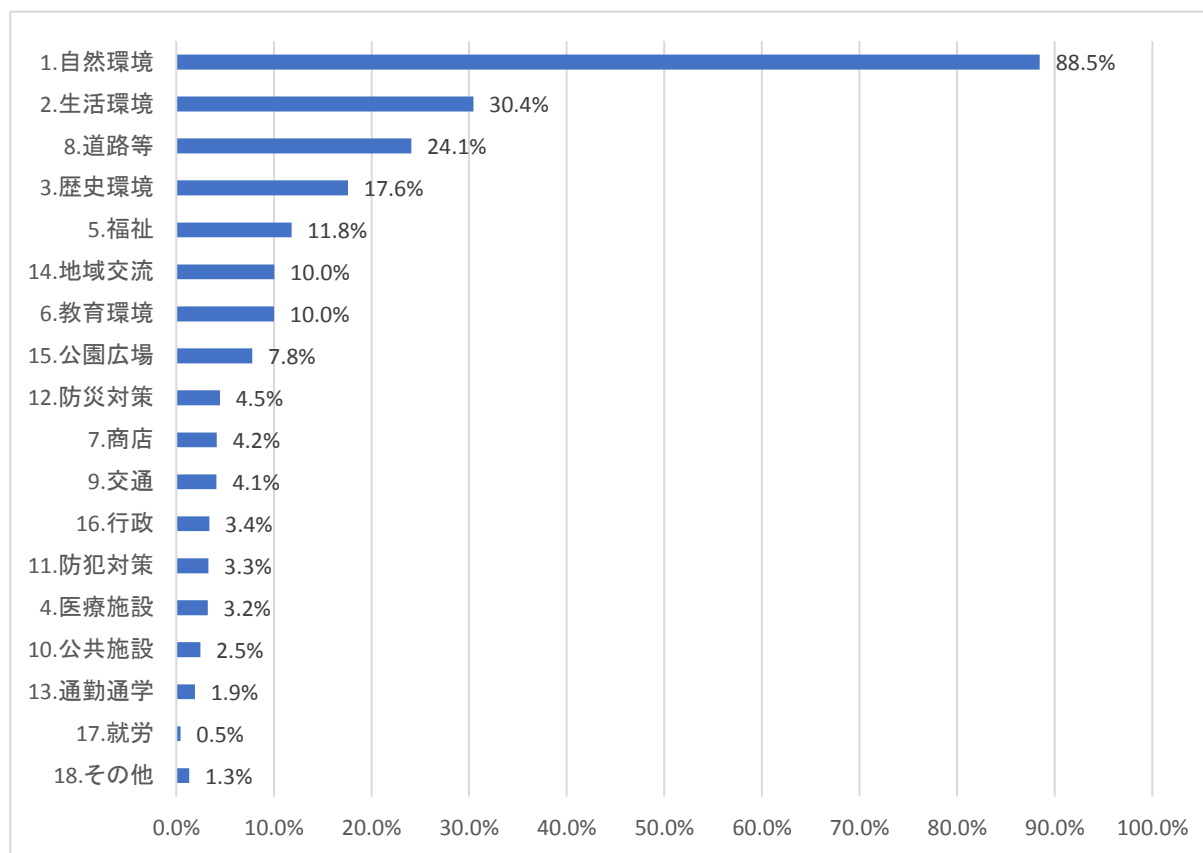
1. 自然環境 2. 日常生活環境 3. 寺社などの歴史環境 4. 医療施設の充実度 5. 福祉サービスの充実度 6. 子供の教育環境  
 7. 商店やサービス業の充実度 8. 道路や下水道の整備状況 9. 交通の便 10. 町の公共施設の整備状況 11. 防犯対策 12. 防災対策  
 13. 通勤や通学の便 14. 地域の交流(コミュニティ)環境 15. 公園や広場などの整備状況 16. 町が提供する行政サービス 17. 就労先の数  
 18. その他

今の上郡町の良いところを挙げてもらったところ、約9割の方が「自然環境」を挙げられました。

以下、「日常生活環境」、「道路や下水道の整備状況」などが続いています。

○良いところ  
(n=2888)

区分	実数	比率
1.自然環境	2,555	88.5%
2.生活環境	879	30.4%
8.道路等	695	24.1%
3.歴史環境	508	17.6%
5.福祉	341	11.8%
14.地域交流	290	10.0%
6.教育環境	289	10.0%
15.公園広場	225	7.8%
12.防災対策	129	4.5%
7.商店	120	4.2%
9.交通	119	4.1%
16.行政	98	3.4%
11.防犯対策	95	3.3%
4.医療施設	93	3.2%
10.公共施設	71	2.5%
13.通勤通学	55	1.9%
17.就労	13	0.5%
18.その他	38	1.3%
計	6,613	



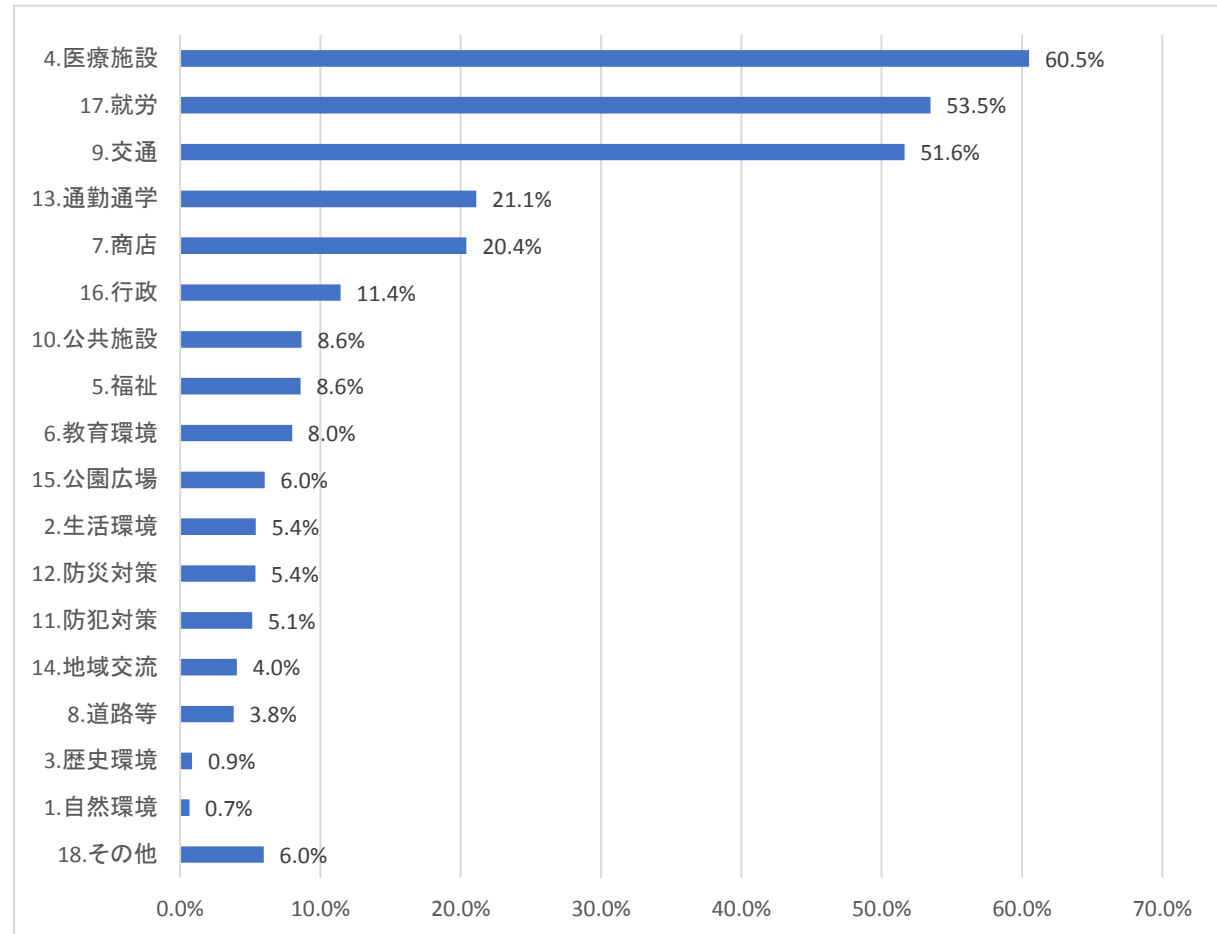
○良くないところ

1. 自然環境 2. 日常的な生活環境 3. 寺社などの歴史環境 4. 医療施設の充実度 5. 福祉サービスの充実度 6. 子供の教育環境  
 7. 商店やサービス業の充実度 8. 道路や下水道の整備状況 9. 交通の便 10. 町の公共施設の整備状況 11. 防犯対策 12. 防災対策  
 13. 通勤や通学の便 14. 地域の交流(コミュニティ)環境 15. 公園や広場などの整備状況 16. 町が提供する行政サービス 17. 就労先の数  
 18. その他

今の上郡町の良くないところについては、約6割の方が「医療施設の充実度」、半数の方が「就労先の数」、「交通の便」を挙げておられます。

(n=3018)

区分	実数	比率
4.医療施設	1,826	60.5%
17.就労	1,614	53.5%
9.交通	1,558	51.6%
13.通勤通学	637	21.1%
7.商店	616	20.4%
16.行政	345	11.4%
10.公共施設	261	8.6%
5.福祉	259	8.6%
6.教育環境	241	8.0%
15.公園広場	182	6.0%
2.生活環境	163	5.4%
12.防災対策	162	5.4%
11.防犯対策	155	5.1%
14.地域交流	122	4.0%
8.道路等	115	3.8%
3.歴史環境	26	0.9%
1.自然環境	20	0.7%
18.その他	180	6.0%
計	8,482	





年齢別に見ると、年齢が上昇するに従い「医療施設の充実度」を挙げる方が多くなる傾向を示す一方、20歳代を中心として若い年齢層ほど「商店やサービス業の充実度」にも不満を持たれている割合が高くなる傾向がうかがえます。

区分	4.医療施設	17.就労	9.交通	13.通勤通学	7.商店	左記以外	計	n
10歳代	3	4	6	5	3	11	32	11
20歳代	19	20	20	11	20	49	139	48
30歳代	100	105	88	27	83	237	640	221
40歳代	217	208	170	102	103	268	1,068	374
50歳代	389	369	335	167	144	398	1,802	633
60歳代	664	553	519	182	135	684	2,737	977
70歳以上	423	342	405	141	123	567	2,001	730
計	1,815	1,601	1,543	635	611	2,214	8,419	2,994

区分	4.医療施設	17.就労	9.交通	13.通勤通学	7.商店
10歳代	27.3%	36.4%	54.5%	45.5%	27.3%
20歳代	39.6%	41.7%	41.7%	22.9%	41.7%
30歳代	45.2%	47.5%	39.8%	12.2%	37.6%
40歳代	58.0%	55.6%	45.5%	27.3%	27.5%
50歳代	61.5%	58.3%	52.9%	26.4%	22.7%
60歳代	68.0%	56.6%	53.1%	18.6%	13.8%
70歳以上	57.9%	46.8%	55.5%	19.3%	16.8%

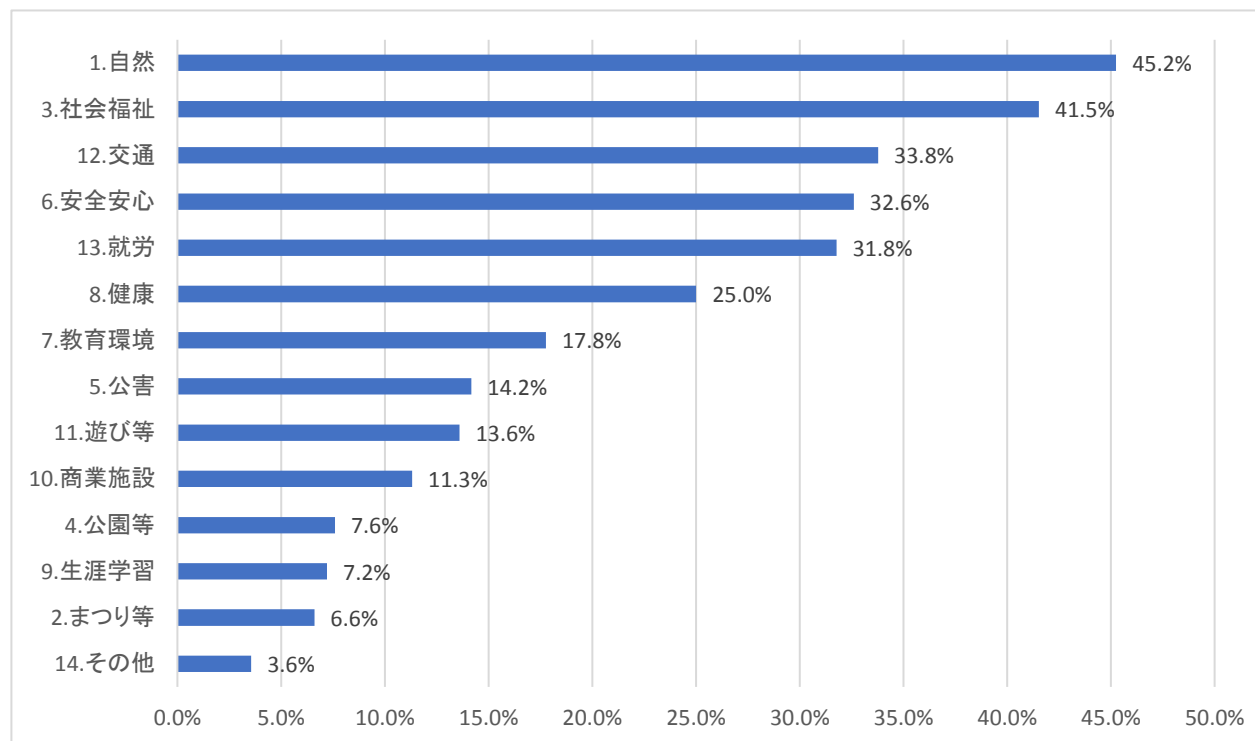
問2 あなたは10年後の上郡町がどのようなようであつたら良いと思われませんか？（3つまで）

1. 豊かな自然が残るまち 2. まつりや催し物が多くにぎわいのあるまち 3. 社会福祉の整った高齢者や障がい者が元気なまち  
 4. 公園や下水道、街灯など生活環境の整備されたまち 5. 公害のないまち 6. 災害や事件等の少ない安全・安心のまち 7. 子供の教育環境がよいまち  
 8. 健康で元気に暮らせるまち 9. 気軽に生涯学習に参加でき、文化・芸術に触れられるまち 10. 商業施設等が多く、にぎわいのあるまち  
 11. 遊び、買い物、飲食などの楽しみの豊富なまち 12. 交通の利便性の良いまち 13. 就労先の多いまち 14. その他

10年後の町の理想像を尋ねたところ、「豊かな自然が残るまち」「社会福祉の整った高齢者や障がい者が元気なまち」が上位になりました。続いて「交通の利便性の良いまち」「災害や事件等の少ない安全・安心のまち」「就労先の多いまち」が挙がっています。

(n=3147)

区分	実数	比率
1.自然	1,424	45.2%
3.社会福祉	1,307	41.5%
12.交通	1,063	33.8%
6.安全安心	1,026	32.6%
13.就労	1,000	31.8%
8.健康	787	25.0%
7.教育環境	559	17.8%
5.公害	446	14.2%
11.遊び等	428	13.6%
10.商業施設	356	11.3%
4.公園等	239	7.6%
9.生涯学習	227	7.2%
2.まつり等	208	6.6%
14.その他	112	3.6%
計	9,182	

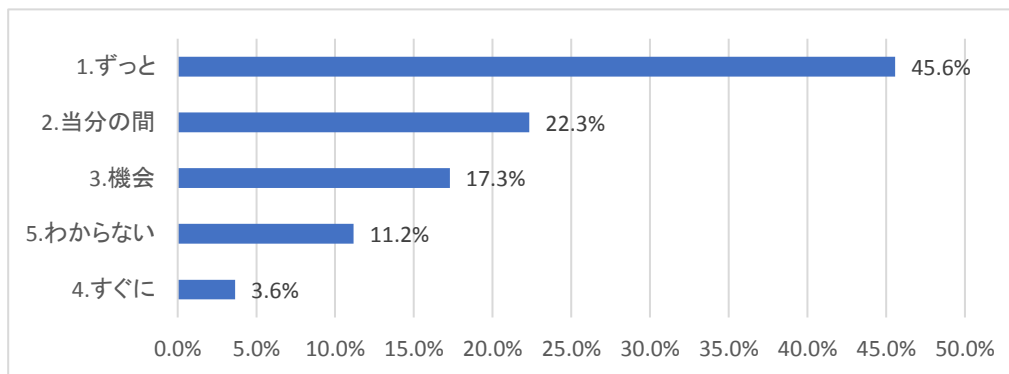


問3 あなたは今後も上郡町に住み続けたいと思われませんか？

1. ずっと住み続けたい 2. 当分の間は住み続けたい 3. 機会があれば町外へ出たい 4. すぐにも町外へ出たい 5. わからない

全体で見ると、「ずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」という回答が合計で約7割となっています。

区分	実数	構成比
1.ずっと	1,424	45.6%
2.当分の間	698	22.3%
3.機会	540	17.3%
5.わからない	349	11.2%
4.すぐに	114	3.6%
計	3,125	100.0%



(再掲)

区分	実数	構成比
住み続けたい	2,122	67.9%
町外へ出たい	654	20.9%
わからない	349	11.2%
計	3,125	100.0%

※「住み続けたい」=選択肢1及び2の計、「町外へ出たい」=選択肢3及び4の計。

しかし年齢別では、20歳代では「(ずっと・当分)住み続けたい」という回答が4割を少し上回るものの、「(機会があれば・すぐに)町外へ出たい」という回答も4割弱と拮抗しています。  
30歳代では「住み続けたい」が約5割、「町外へ出たい」が約4割となり、以降、年齢層が上がるほど「住み続けたい」という回答が多くなっています。

区分	住み続けたい	町外へ出たい	わからない	計	住み続けたい	町外へ出たい	わからない	計
10歳代	1	9	1	11	9.1%	81.8%	9.1%	100.0%
20歳代	19	17	10	46	41.3%	37.0%	21.7%	100.0%
30歳代	111	88	28	227	48.9%	38.8%	12.3%	100.0%
40歳代	211	107	62	380	55.5%	28.2%	16.3%	100.0%
50歳代	411	160	82	653	62.9%	24.5%	12.6%	100.0%
60歳代	737	169	100	1,006	73.3%	16.8%	9.9%	100.0%
70歳以上	619	95	62	776	79.8%	12.2%	8.0%	100.0%
計	2,109	645	345	3,099	68.1%	20.8%	11.1%	100.0%

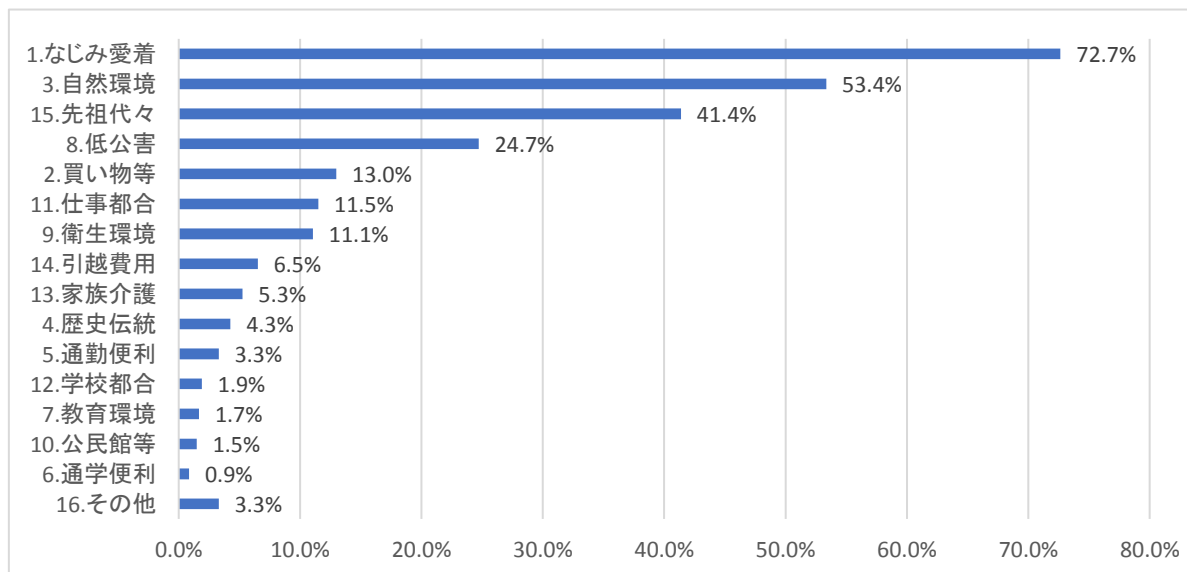
問4 上の問3で「1. ずっと住みたい」「2. 当分の間は住みたい」を選ばれた方のみお答えください。住みたい理由は何ですか。(3つまで)

1. 地域になじみや愛着がある 2. 買い物など日常生活が便利である 3. 自然環境に恵まれている 4. 歴史や伝統がある 5. 通勤に便利である  
 6. 通学に便利である 7. 教育環境が良い 8. 騒音・悪臭などの公害が少ない 9. ゴミや下水などの衛生環境が良い  
 10. 公民館などのコミュニティー施設が充実している 11. 仕事の都合 12. 学校の都合 13. 家族の介護 14. 引越費用などの経済的負担のため  
 15. 先祖代々の家・土地を守る必要がある 16. その他

(n=2088)

区分	実数	比率
1.なじみ愛着	1,517	72.7%
3.自然環境	1,114	53.4%
15.先祖代々	864	41.4%
8.低公害	516	24.7%
2.買い物等	271	13.0%
11.仕事都合	240	11.5%
9.衛生環境	231	11.1%
14.引越費用	136	6.5%
13.家族介護	110	5.3%
4.歴史伝統	89	4.3%
5.通勤便利	69	3.3%
12.学校都合	40	1.9%
7.教育環境	35	1.7%
10.公民館等	31	1.5%
6.通学便利	18	0.9%
16.その他	69	3.3%
計	5,350	

住みたい理由は、「地域になじみや愛着がある」「自然環境に恵まれている」に続いて、「先祖代々の家・土地を守る必要がある」という、やや義務的な理由も上位に挙げられました。



年齢別に見ると、どの年齢層も「地域になじみや愛着がある」「自然環境に恵まれている」という回答が多くなっている一方、「先祖代々の家・土地を守る必要がある」という理由は50歳代を中心に高齢者層を中心に多くなる傾向がうかがえます。

区分	1.なじみ愛着	3.自然環境	15.先祖代々	8.低公害	左記以外	計	n	1.なじみ愛着	3.自然環境	15.先祖代々	8.低公害
10歳代	1	1	0	1	0	3	1	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
20歳代	11	11	1	6	22	51	19	57.9%	57.9%	5.3%	31.6%
30歳代	63	51	25	16	126	281	111	56.8%	45.9%	22.5%	14.4%
40歳代	133	84	81	44	164	506	209	63.6%	40.2%	38.8%	21.1%
50歳代	296	200	207	88	245	1,036	410	72.2%	48.8%	50.5%	21.5%
60歳代	536	433	314	215	434	1,932	724	74.0%	59.8%	43.4%	29.7%
70歳以上	493	362	245	161	398	1,659	602	81.9%	60.1%	40.7%	26.7%
計	1,533	1,142	873	531	1,389	5,468	2,076				

地区別では、高田台地区で「先祖代々の家・土地を守る必要がある」という回答割合が他地区よりも非常に低く、代わりに「騒音・悪臭などの公害が少ない」という回答がやや多くなっています。

区分	1.なじみ愛着	3.自然環境	15.先祖代々	8.騒音悪臭	左記以外	計	n	1.なじみ愛着	3.自然環境	15.先祖代々	8.騒音悪臭
上郡	216	147	110	55	204	732	282	76.6%	52.1%	39.0%	19.5%
山野里	448	314	220	133	530	1,645	625	71.7%	50.2%	35.2%	21.3%
高田	207	167	145	75	115	709	257	80.5%	65.0%	56.4%	29.2%
高田台	164	175	23	101	208	671	263	62.4%	66.5%	8.7%	38.4%
鞍居	161	95	115	58	117	546	203	79.3%	46.8%	56.7%	28.6%
赤松	156	104	124	37	104	525	211	73.9%	49.3%	58.8%	17.5%
船坂	135	115	99	64	76	489	176	76.7%	65.3%	56.3%	36.4%
梨ヶ原	43	21	34	6	30	134	52	82.7%	40.4%	65.4%	11.5%
光都	0	0	0	0	0	0	0				
計	1,530	1,138	870	529	1,384	5,451	2,069				

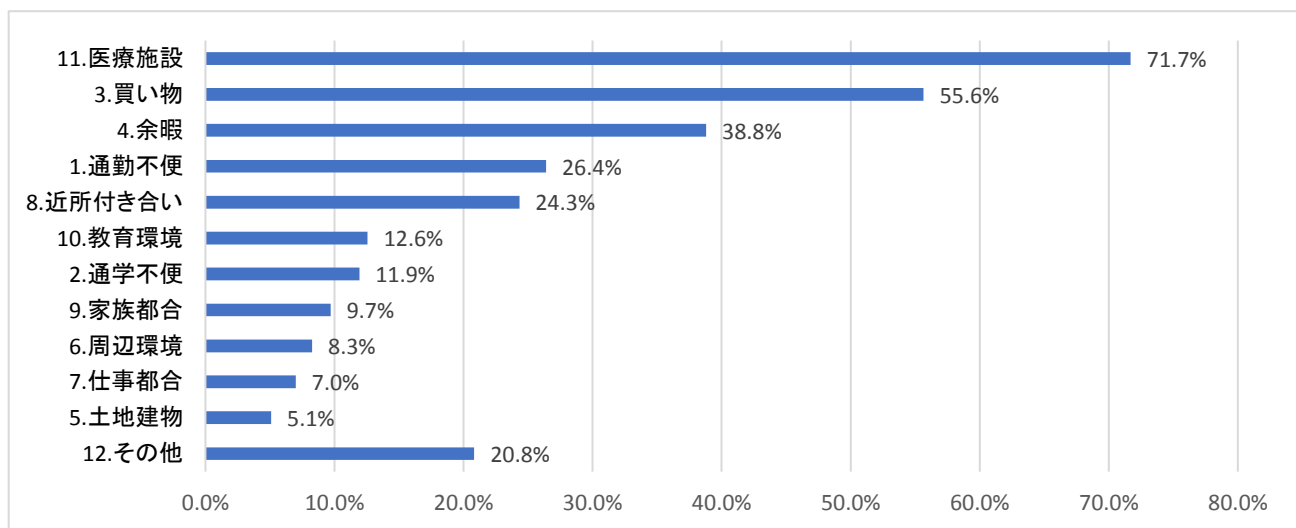
問5 上の問3で「3. 機会があれば町外へ出たい」「4. すぐにでも町外へ出たい」を選ばれた方のみお答えください。町外へ出たい理由は何ですか。(3つまで)

1. 通勤が不便である    2. 通学が不便である    3. 買い物などが不便である    4. 余暇を楽しむ施設やイベントが少ない  
 5. 条件に合う土地・建物がない    6. 日当たりや近隣道路などの住居の周辺環境が悪い    7. 仕事の都合    8. 近所付き合いがわずらわしい  
 9. 家族の都合    10. 教育環境が悪い    11. 医療施設が少ない    12. その他

(n=629)

区分	実数	比率
11.医療施設	451	71.7%
3.買い物	350	55.6%
4.余暇	244	38.8%
1.通勤不便	166	26.4%
8.近所付き合い	153	24.3%
10.教育環境	79	12.6%
2.通学不便	75	11.9%
9.家族都合	61	9.7%
6.周辺環境	52	8.3%
7.仕事都合	44	7.0%
5.土地建物	32	5.1%
12.その他	131	20.8%
計	1,838	

町外へ出たい理由の上位には、「医療施設が少ない」「買い物などが不便である」「余暇を楽しむ施設やイベントが少ない」が挙げられました。



年齢別では、「医療施設が少ない」が高齢層になるほど多い傾向が見られ、60歳以上では9～10割の方が理由に挙げておられます。また、「買い物などが不便である」と回答された方が、40歳代では約4割であるのに対し、10歳代で75%、さらに70歳以上で8割を超えています。一方、「余暇を楽しむ施設やイベントが少ない」は若年層にやや多い傾向がみられました。

区分	11.医療施設	3.買い物	4.余暇	左記以外	計	n	11.医療施設	3.買い物	4.余暇
10歳代	2	6	4	10	22	8	25.0%	75.0%	50.0%
20歳代	7	9	8	22	46	17	41.2%	52.9%	47.1%
30歳代	25	43	48	107	223	85	29.4%	50.6%	56.5%
40歳代	55	43	37	142	277	104	52.9%	41.3%	35.6%
50歳代	121	77	51	188	437	155	78.1%	49.7%	32.9%
60歳代	146	93	62	187	488	163	89.6%	57.1%	38.0%
70歳以上	88	74	32	123	317	88	100.0%	84.1%	36.4%
計	444	345	242	779	1,810	620			

地区別では、「医療施設が少ない」が地区を問わず多い中で、山野里地区では「余暇を楽しむ施設やイベントが少ない」がやや多くなりました。

区分	11.医療施設	3.買い物	4.余暇	左記以外	計	n	11.医療施設	3.買い物	4.余暇
上郡	65	52	36	107	260	92	70.7%	56.5%	39.1%
山野里	125	72	101	258	556	200	62.5%	36.0%	50.5%
高田	50	37	19	90	196	66	75.8%	56.1%	28.8%
高田台	99	85	46	129	359	123	80.5%	69.1%	37.4%
鞍居	34	27	11	57	129	40	85.0%	67.5%	27.5%
赤松	30	24	16	65	135	48	62.5%	50.0%	33.3%
船坂	31	32	12	52	127	38	81.6%	84.2%	31.6%
梨ヶ原	12	15	1	23	51	15	80.0%	100.0%	6.7%
光都	1	1	0	1	3	1	100.0%	100.0%	0.0%
計	447	345	242	782	1,816	623			

問6 あなたは、職場・学校・自治会以外で行われている活動(例:各種サークル、ボランティア活動など)にどの程度参加されていますか。

1. 積極的に参加している    2. つきあい上、ある程度参加している    3. 興味のあるものや関係のあるものだけ参加している  
4. あまり参加しない    5. ほとんど参加しない

職場・学校・自治会以外での各種サークル活動やボランティア活動には、半数以上の方が「あまり参加しない」「ほとんど参加しない」という回答でした。

区分	1.積極的	2.つきあい上	3.興味関係	4.あまり	5.ほとんど	計
実数	315	621	574	503	1,117	3,130
構成比	10.1%	19.8%	18.3%	16.1%	35.7%	100.0%
				(小計) 51.8%		

年齢別で見ると、「積極的に参加している」「つきあい上、ある程度参加している(以下、つきあい上)」「興味のあるものや関係のあるものだけ参加している(以下、興味関係)」が、年齢層が上がると多くなっていく傾向が見られます。

区分	1.積極的	2.つきあい上	3.興味関係	4.あまり	5.ほとんど	計	1.積極的	2.つきあい上	3.興味関係	4.あまり	5.ほとんど	計
10歳代	1	1	1	3	5	11	9.1%	9.1%	9.1%	27.3%	45.5%	100.0%
20歳代	2	4	3	12	25	46	4.3%	8.7%	6.5%	26.1%	54.3%	100.0%
30歳代	13	38	33	34	106	224	5.8%	17.0%	14.7%	15.2%	47.3%	100.0%
40歳代	17	67	51	71	169	375	4.5%	17.9%	13.6%	18.9%	45.1%	100.0%
50歳代	43	123	95	105	284	650	6.6%	18.9%	14.6%	16.2%	43.7%	100.0%
60歳代	113	202	229	158	311	1,013	11.2%	19.9%	22.6%	15.6%	30.7%	100.0%
70歳以上	124	176	158	116	210	784	15.8%	22.4%	20.2%	14.8%	26.8%	100.0%
計	313	611	570	499	1,110	3,103	10.1%	19.7%	18.4%	16.1%	35.8%	100.0%

地区別では、鞍居地区では「つきあい上」の割合が最も高く、梨ヶ原地区では「つきあい上」と「ほとんど参加しない」が同数で最も多くなりました。

区分	1.積極的	2.つきあい上	3.興味関係	4.あまり	5.ほとんど	計	1.積極的	2.つきあい上	3.興味関係	4.あまり	5.ほとんど	計
上郡	44	83	85	79	139	430	10.2%	19.3%	19.8%	18.4%	32.3%	100.0%
山野里	96	161	168	142	380	947	10.1%	17.0%	17.7%	15.0%	40.1%	100.0%
高田	39	80	70	58	121	368	10.6%	21.7%	19.0%	15.8%	32.9%	100.0%
高田台	29	53	103	76	200	461	6.3%	11.5%	22.3%	16.5%	43.4%	100.0%
鞍居	35	83	44	44	68	274	12.8%	30.3%	16.1%	16.1%	24.8%	100.0%
赤松	32	68	54	50	86	290	11.0%	23.4%	18.6%	17.2%	29.7%	100.0%
船坂	31	60	37	39	86	253	12.3%	23.7%	14.6%	15.4%	34.0%	100.0%
梨ヶ原	6	26	9	10	26	77	7.8%	33.8%	11.7%	13.0%	33.8%	100.0%
光都	0	0	0	0	1	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
計	312	614	570	498	1,107	3,101	10.1%	19.8%	18.4%	16.1%	35.7%	100.0%

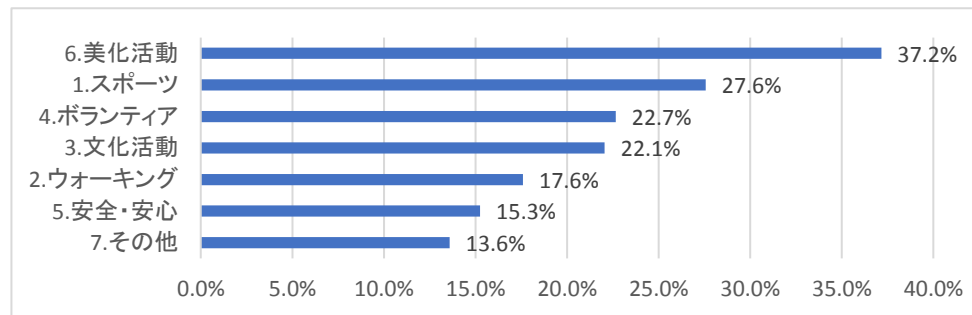
問7 上の問6で、1～3を選ばれた方にお聞きします。あなたが参加している活動はどのような活動ですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

1. 運動会、野球大会などのスポーツ大会
2. ハイキング、史跡めぐりなどのウォーキング
3. コーラス、文化祭などの文化活動
4. 社会福祉施設の訪問などのボランティア活動
5. 消防団や子供の見守りなど安全・安心活動
6. 地域の清掃や緑化などの美化活動(自治会活動によるものを除く)
7. その他

全体では「地域の清掃や緑化などの美化活動(自治会活動によるものを除く)(以下、美化活動)」、「運動会、野球大会などのスポーツ大会(以下、スポーツ大会)」の順となりました。

(n=1324)

区分	実数	比率
6.美化活動	492	37.2%
1.スポーツ	365	27.6%
4.ボランティア	300	22.7%
3.文化活動	292	22.1%
2.ウォーキング	233	17.6%
5.安全・安心	202	15.3%
7.その他	180	13.6%
計	2,064	



男女別で見ると、「美化活動」が最も多いものの、男性は「スポーツ大会」、女性は「コーラス、文化祭などの文化活動(以下、文化活動)」が続きました。

区分	6.美化活動	1.スポーツ	3.文化活動	左記以外	計	n	6.美化活動	1.スポーツ	3.文化活動
男性	277	207	85	460	1,029	651	42.5%	31.8%	13.1%
女性	208	156	205	449	1,018	665	31.3%	23.5%	30.8%
計	485	363	290	909	2,047	1,316			

年代別では、若年層が「スポーツ大会」の割合が非常に高く、高齢層では「美化活動」に続いて、「文化活動」「ハイキング、史跡めぐりなどのウォーキング」「スポーツ大会」を挙げる方が多くなりました。

区分	6.美化活動	1.スポーツ	3.文化活動	2.ウォーキング	左記以外	計	n	6.美化活動	1.スポーツ	3.文化活動	2.ウォーキング
10歳代	1	2	1	0	1	5	3	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%
20歳代	5	6	1	0	8	20	9	55.6%	66.7%	11.1%	0.0%
30歳代	18	45	9	2	33	107	80	22.5%	56.3%	11.3%	2.5%
40歳代	40	59	26	10	56	191	132	30.3%	44.7%	19.7%	7.6%
50歳代	100	47	42	18	118	325	238	42.0%	19.7%	17.6%	7.6%
60歳代	169	98	101	99	271	738	481	35.1%	20.4%	21.0%	20.6%
70歳以上	152	106	110	102	191	661	369	41.2%	28.7%	29.8%	27.6%
計	485	363	290	231	678	2,047	1,312				



地区別では、多くの地区で「美化活動」が最も多い中、高田台地区では「ハイキング、史跡めぐりなどのウォーキング」が、梨ヶ原地区では「スポーツ大会」が、それぞれ最も多くなりました。

区分	6.美化活動	1.スポーツ	2.ウォーキング	左記以外	計	n	6.美化活動	1.スポーツ	2.ウォーキング
上郡	79	63	24	116	282	183	43.2%	34.4%	13.1%
山野里	135	94	56	279	564	375	36.0%	25.1%	14.9%
高田	53	42	24	145	264	165	32.1%	25.5%	14.5%
高田台	37	33	48	125	243	163	22.7%	20.2%	29.4%
鞍居	62	45	36	101	244	146	42.5%	30.8%	24.7%
赤松	52	25	25	102	204	130	40.0%	19.2%	19.2%
船坂	49	45	13	75	182	117	41.9%	38.5%	11.1%
梨ヶ原	15	17	4	25	61	35	42.9%	48.6%	11.4%
光都	0	0	0	0	0	0			
計	482	364	230	968	2,044	1,314			

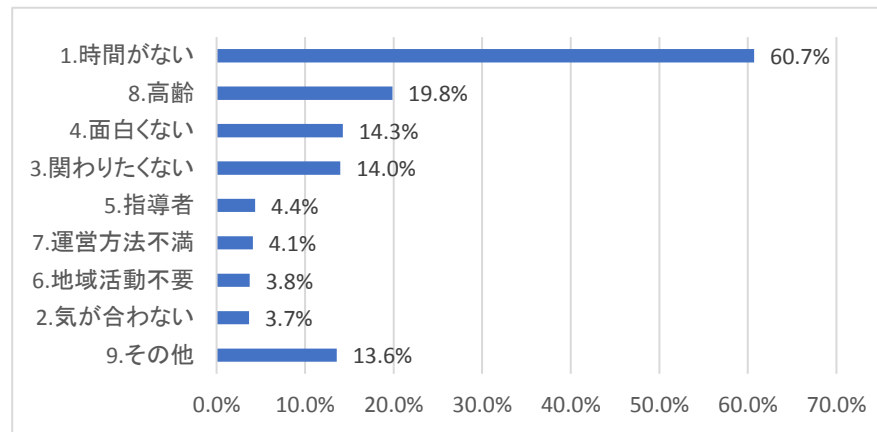
問8 上の問6で、4, 5を選ばれた方にお聞きします。あなたが活動に参加しない理由は何ですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

1. いそがしくて時間がない    2. 参加している人と気が合わない    3. 他人と関わりたくない    4. 内容が面白くない  
 5. 指導者に恵まれていない    6. 地域活動は必要だと思わない    7. 活動の運営方法に不満がある    8. 高齢のため    9. その他

全体では、約6割の方から「いそがしくて時間がない」という回答があり、次いで「高齢のため」、「内容が面白くない」「他人と関わりたくない」の順に続いています。

(n=1466)

区分	実数	比率
1.時間がない	890	60.7%
8.高齢	291	19.8%
4.面白くない	209	14.3%
3.関わりたくない	205	14.0%
5.指導者	64	4.4%
7.運営方法不満	60	4.1%
6.地域活動不要	55	3.8%
2.気が合わない	54	3.7%
9.その他	199	13.6%
計	2,027	



男女別、地区別(光都を除く)に見ても、同様の順となっておりますが、年齢別では、60歳代までのすべての年齢層で「いそがしくて時間がない」に続いて、「内容が面白くない」「他人と関わりたくない」という回答が比較的多数を占める一方、70歳以上では「高齢のため」という理由が最も多くなりました。

区分	1.時間がない	8.高齢	4.面白くない	3.関わりたくない	左記以外	計	n	1.時間がない	8.高齢	4.面白くない	3.関わりたくない
10歳代	6	0	1	1	3	11	7	85.7%	0.0%	14.3%	14.3%
20歳代	26	0	9	4	10	49	35	74.3%	0.0%	25.7%	11.4%
30歳代	108	3	22	17	32	182	132	81.8%	2.3%	16.7%	12.9%
40歳代	180	3	42	36	50	311	224	80.4%	1.3%	18.8%	16.1%
50歳代	266	6	56	52	86	466	364	73.1%	1.6%	15.4%	14.3%
60歳代	239	48	61	68	175	591	407	58.7%	11.8%	15.0%	16.7%
70歳以上	60	229	15	25	74	403	289	20.8%	79.2%	5.2%	8.7%
計	885	289	206	203	430	2,013	1,458				

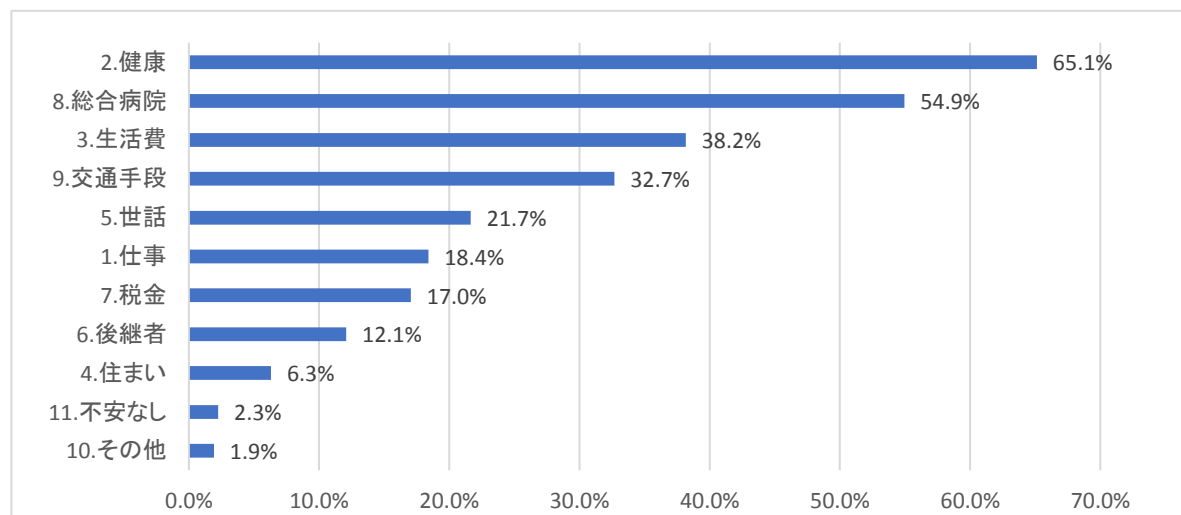
問9 今後、老後に不安を感じるとすれば、または、実際に不安に感じておられる場合は、どのようなことですか。(3つまで)

1. 仕事ができなくなること    2. 健康のこと    3. 生活費のこと    4. 住まいのこと    5. 身の回りの世話をしてもらう人のこと  
 6. 後継者のこと    7. 税金のこと    8. 近くに総合病院がないこと    9. 交通・移動手段    10. その他    11. 特に不安はない

老後の不安としては、7割近くの方が「健康のこと」を挙げ、次いで「近くに総合病院がないこと」、続いて「生活費のこと」「交通・移動手段」が続きました。

(n=3103)

区分	実数	比率
2.健康	2,021	65.1%
8.総合病院	1,705	54.9%
3.生活費	1,184	38.2%
9.交通手段	1,014	32.7%
5.世話	672	21.7%
1.仕事	571	18.4%
7.税金	529	17.0%
6.後継者	375	12.1%
4.住まい	196	6.3%
11.不安なし	70	2.3%
10.その他	60	1.9%
計	8,397	



年齢別に見ると、「近くに総合病院がないこと」を挙げる声が世代を問わず多い中で、若年層では「生活費のこと」、高齢層では「健康のこと」を挙げる割合が比較的多くなる傾向が見られます。

区分	2.健康	8.総合病院	3.生活費	9.交通手段	左記以外	計	n	2.健康	8.総合病院	3.生活費	9.交通手段
10歳代	5	5	2	8	12	32	11	45.5%	45.5%	18.2%	72.7%
20歳代	18	29	23	16	40	126	47	38.3%	61.7%	48.9%	34.0%
30歳代	85	99	121	83	208	596	224	37.9%	44.2%	54.0%	37.1%
40歳代	192	198	204	123	299	1,016	375	51.2%	52.8%	54.4%	32.8%
50歳代	396	342	324	209	506	1,777	647	61.2%	52.9%	50.1%	32.3%
60歳代	730	581	337	324	745	2,717	998	73.1%	58.2%	33.8%	32.5%
70歳以上	582	438	164	239	640	2,063	774	75.2%	56.6%	21.2%	30.9%
計	2,008	1,692	1,175	1,002	2,450	8,327	3,076				

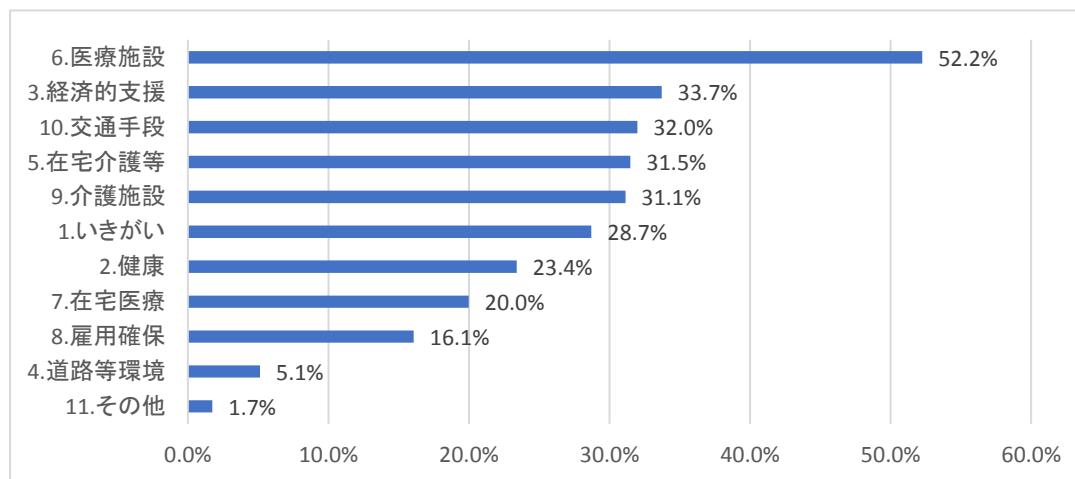
問10 高齢社会への対応として、どのようなことが充実していけば、今後も高齢者が生き生きと暮らしていけると思われますか。(3つまで)

1. 高齢者の生きがいづくり    2. 健康の維持増進活動    3. 経済的な支援    4. 高齢者に配慮した道路等の環境づくり    5. 在宅介護・介助サービス  
 6. 医療施設    7. 在宅医療    8. 雇用の場の確保    9. 介護施設の整備    10. 交通・移動手段    11. その他

充実すべき事項については、「医療施設」が半数を超え最も多く、次いで「経済的な支援」「交通・移動手段」と続きますが、「在宅介護・介助サービス」と「在宅医療」を合わせると半数を超えており、在宅での介護・医療を求める声も多くあがっています。

(n=3093)

区分	実数	比率
6.医療施設	1,616	52.2%
3.経済的支援	1,043	33.7%
10.交通手段	989	32.0%
5.在宅介護等	974	31.5%
9.介護施設	963	31.1%
1.いきがい	888	28.7%
2.健康	724	23.4%
7.在宅医療	618	20.0%
8.雇用確保	497	16.1%
4.道路等環境	159	5.1%
11.その他	54	1.7%
計	8,525	



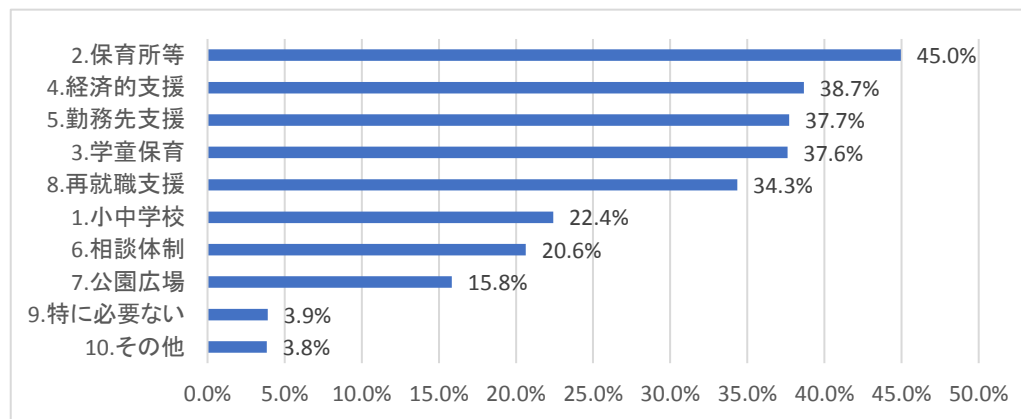
問11 少子社会への対応として、子育てを応援するために、あなたが望ましいと思うのはどのようなことですか。(3つまで)

1. 小中学校の施設や教育内容の充実    2. 保育所・託児施設の整備充実    3. 学童保育などの対象児童拡大や時間延長    4. 経済的な支援  
 5. 育児休暇など、勤め先の子育て支援体制の充実促進    6. 子育ての悩み・不安を解消する相談体制の充実  
 7. 子供を遊ばせることのできる公園や広場の整備    8. 育児後の再就職支援    9. これ以上特に必要ない    10. その他

望まれる子育て支援としては、保育所等の整備充実、経済的支援、勤務先の支援体制の充実、学童保育等の拡大が上位に挙がっています。

(n=2941)

区分	実数	比率
2.保育所等	1,322	45.0%
4.経済的支援	1,137	38.7%
5.勤務先支援	1,109	37.7%
3.学童保育	1,106	37.6%
8.再就職支援	1,010	34.3%
1.小中学校	659	22.4%
6.相談体制	607	20.6%
7.公園広場	466	15.8%
9.特に必要ない	115	3.9%
10.その他	113	3.8%
計	7,644	



年齢別に見ると、20～40歳代の約5～6割の方から、経済的支援を求める声が挙がっています。

区分	2.保育所等	4.経済的支援	5.勤務先支援	3.学童保育	8.再就職支援	左記以外	計	n
10歳代	4	6	2	2	4	9	27	10
20歳代	25	24	18	17	16	36	136	47
30歳代	101	131	64	94	67	161	618	227
40歳代	119	178	139	148	133	260	977	373
50歳代	305	241	232	273	227	378	1,656	627
60歳代	442	329	385	371	326	613	2,466	955
70歳以上	318	219	262	192	229	493	1,713	681
計	1,314	1,128	1,102	1,097	1,002	1,950	7,593	2,920

区分	2.保育所等	4.経済的支援	5.勤務先支援	3.学童保育	8.再就職支援
10歳代	40.0%	60.0%	20.0%	20.0%	40.0%
20歳代	53.2%	51.1%	38.3%	36.2%	34.0%
30歳代	44.5%	57.7%	28.2%	41.4%	29.5%
40歳代	31.9%	47.7%	37.3%	39.7%	35.7%
50歳代	48.6%	38.4%	37.0%	43.5%	36.2%
60歳代	46.3%	34.5%	40.3%	38.8%	34.1%
70歳以上	46.7%	32.2%	38.5%	28.2%	33.6%

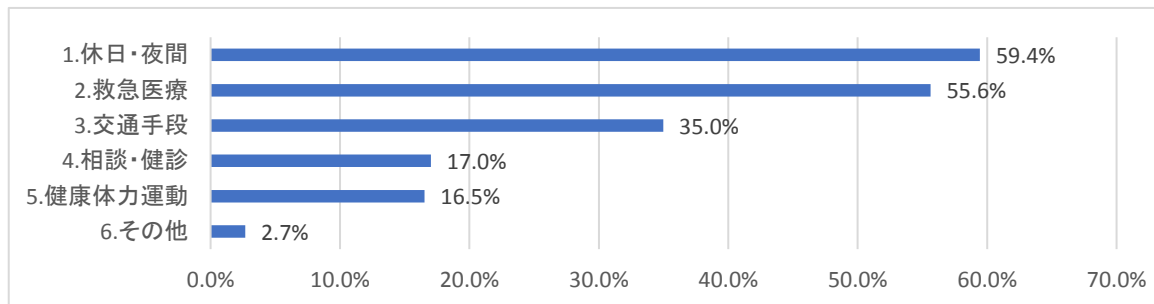
問12 保健・医療の分野で、どのようなことが充実すれば、あなたは健康面での安心が得られると思われますか。(2つまで)

1. 休日・夜間の医療体制      2. 救急医療体制      3. 保健・医療機関への交通手段の利便性向上      4. 健康・医療相談、各種検診制度  
5. 健康づくり運動、体力づくり運動の推進      6. その他(具体的に)

健康面での安心については、男女別、年齢別、地区別を問わず、「休日・夜間の医療体制」「救急医療体制」の充実を望む方が半数を超え、次いで「保健・医療機関への交通手段の利便性向上」の充実を望む割合が高くなっています。

(n=3074)

区分	実数	比率
1.休日・夜間	1,827	59.4%
2.救急医療	1,710	55.6%
3.交通手段	1,075	35.0%
4.相談・健診	523	17.0%
5.健康体力運動	508	16.5%
6.その他	82	2.7%
計	5,725	



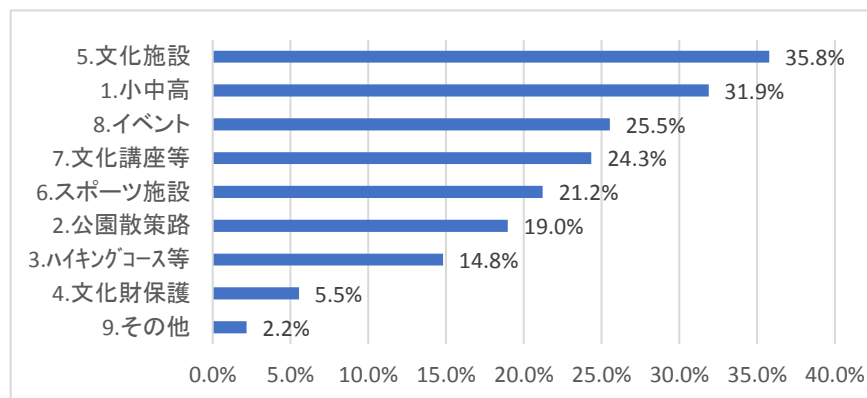
問13 教育・文化・レクリエーションについて、あなたはどのような分野での充実・整備が望ましいと思われますか。(2つまで)

1. 小中高の学校教育施設・教育内容の充実      2. 公園や散策路などの整備      3. ハイキング・ウォーキングコースの整備      4. 文化財の保護活動  
5. 図書館等の文化施設の充実      6. スポーツ施設の整備      7. 文化講座・講演会やコンサートなどの実施      8. 町民がこぞって参加できるイベントの実施  
9. その他

教育・文化・レクリエーション分野では、「図書館等の文化施設の充実」、「小中高の学校教育施設・教育内容の充実」が多く挙がりました。

(n=2851)

区分	実数	比率
5.文化施設	1,020	35.8%
1.小中高	909	31.9%
8.イベント	728	25.5%
7.文化講座等	694	24.3%
6.スポーツ施設	605	21.2%
2.公園散策路	541	19.0%
3.ハイキングコース等	422	14.8%
4.文化財保護	158	5.5%
9.その他	62	2.2%
計	5,139	



男女別に見ると、上記「文化施設」「小中高教育」の充実に続いて、男性は「町民がこぞって参加できるイベントの実施（以下、イベント）」、女性は「文化講座・講演会やコンサートなどの実施（以下、文化講座等）」が挙げられました。

区分	1.小中高	5.文化施設	6.スポーツ施設	7.文化講座等	8.イベント	左記以外	計	n
男性	424	435	303	298	410	692	2,562	1,415
女性	483	582	301	392	314	483	2,555	1,422
計	907	1,017	604	690	724	1,175	5,117	2,837

区分	1.小中高	5.文化施設	6.スポーツ施設	7.文化講座等	8.イベント
男性	30.0%	30.7%	21.4%	21.1%	29.0%
女性	34.0%	40.9%	21.2%	27.6%	22.1%

年齢別では、「文化施設」が年代を問わず多い中で、「小中高教育」「スポーツ施設の整備」が年齢層が下がるにつれて多くなり、逆に「文化講座等」「イベント」を求める声は年齢層が上がるに従い多くなるという大まかな傾向がうかがえます。

区分	1.小中高	5.文化施設	6.スポーツ施設	7.文化講座等	8.イベント	左記以外	計	n
10歳代	5	5	5	2	1	3	21	11
20歳代	24	17	15	5	9	17	87	47
30歳代	101	79	76	27	35	72	390	221
40歳代	154	159	113	70	57	104	657	362
50歳代	182	261	148	183	132	211	1,117	614
60歳代	261	306	148	244	250	437	1,646	916
70歳以上	175	185	97	157	242	330	1,186	659
計	902	1,012	602	688	726	1,174	5,104	2,830

区分	1.小中高	5.文化施設	6.スポーツ施設	7.文化講座等	8.イベント
10歳代	45.5%	45.5%	45.5%	18.2%	9.1%
20歳代	51.1%	36.2%	31.9%	10.6%	19.1%
30歳代	45.7%	35.7%	34.4%	12.2%	15.8%
40歳代	42.5%	43.9%	31.2%	19.3%	15.7%
50歳代	29.6%	42.5%	24.1%	29.8%	21.5%
60歳代	28.5%	33.4%	16.2%	26.6%	27.3%
70歳以上	26.6%	28.1%	14.7%	23.8%	36.7%

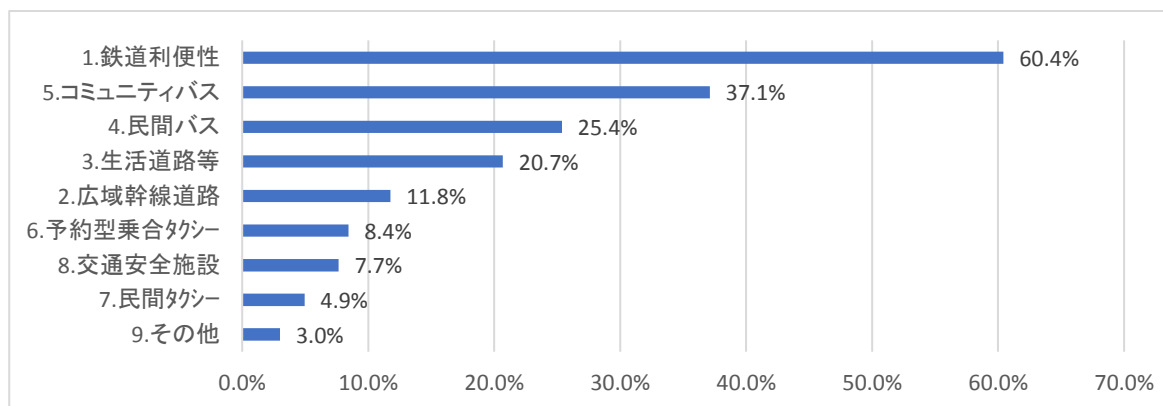
問14 交通体系の整備について、どのようなことが充実・整備されれば、あなたは日常生活の移動がより安全安心・便利になると思われますか。(2つまで)

1. 鉄道利便性      2. 広域幹線道路の整備      3. 身近な生活道路・歩道の整備      4. 民間バス交通(路線・運行本数)の充実  
 5. コミュニティバス交通(路線・運行本数)の充実      6. 予約型乗合タクシーの充実      7. 民間タクシーの充実  
 8. 交通安全施設(信号・ガードレールなど)の整備      9. その他

交通体系の整備では、約6割の方から「鉄道利便性」が挙がり、次いで「コミュニティバス交通の充実」「民間バス交通の充実」が上位となりました。

(n=2991)

区分	実数	比率
1.鉄道利便性	1,807	60.4%
5.コミュニティバス	1,110	37.1%
4.民間バス	759	25.4%
3.生活道路等	619	20.7%
2.広域幹線道路	352	11.8%
6.予約型乗合タクシー	252	8.4%
8.交通安全施設	229	7.7%
7.民間タクシー	148	4.9%
9.その他	90	3.0%
計	5,366	



年齢別では、若年層ほど「鉄道利便性」を求める声が多く、逆に「コミュニティバス交通の充実」は年齢層が上がるとう回答数が増える傾向がうかがえました。なお、「身近な生活道路・歩道の整備」についても、30歳代を中心に、比較的多くの回答が寄せられました。

区分	1.鉄道利便性	5.コミュニティバス	4.民間バス	3.生活道路等	左記以外	計	n	1.鉄道利便性	5.コミュニティバス	4.民間バス	3.生活道路等
10歳代	9	2	2	3	5	21	11	81.8%	18.2%	18.2%	27.3%
20歳代	36	11	13	6	16	82	46	78.3%	23.9%	28.3%	13.0%
30歳代	150	37	40	59	97	383	221	67.9%	16.7%	18.1%	26.7%
40歳代	275	90	83	69	135	652	367	74.9%	24.5%	22.6%	18.8%
50歳代	430	256	159	102	200	1,147	635	67.7%	40.3%	25.0%	16.1%
60歳代	553	405	232	201	328	1,719	960	57.6%	42.2%	24.2%	20.9%
70歳以上	343	299	220	174	282	1,318	726	47.2%	41.2%	30.3%	24.0%
計	1,796	1,100	749	614	1,063	5,322	2,966				

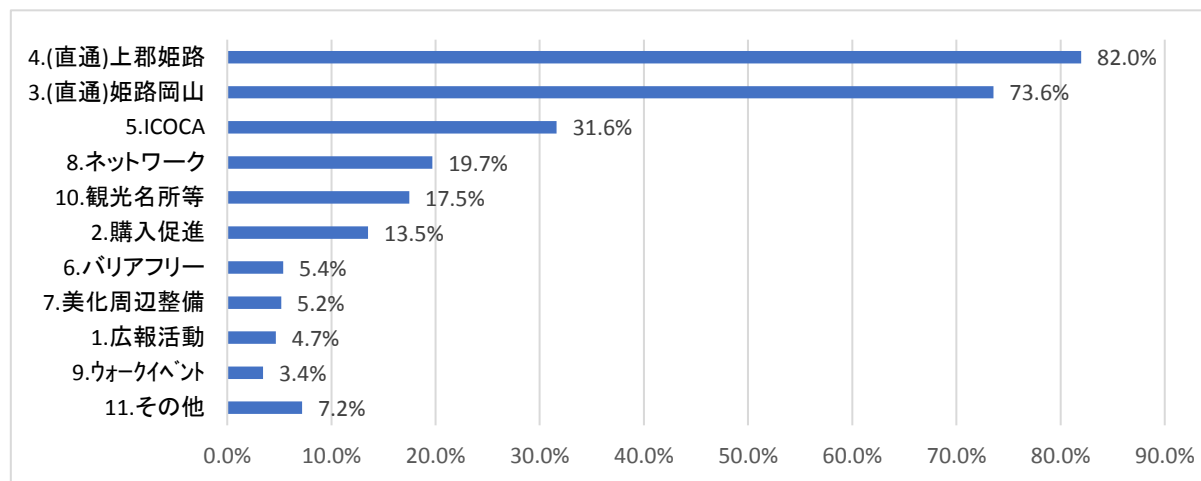
問15 現在、JR西日本の運行ダイヤ変更や、ICOCAの利用ができないことなどの影響もあり、上郡駅の1日当たり利用者数は3千人を下回る状況です。今後、どのようなことが充実すれば、あなたやご家族が上郡駅の利用を増やし、あるいは町外の方がさらに上郡駅を使うようになると思われますか。(3つまで)

1. 電車利用促進の啓発看板・パンフレット等の広報活動
2. 往復乗車券・定期券等の地元での購入促進
3. 姫路・岡山間の直通電車の増便
4. 相生駅での乗換便の解消(上郡駅—姫路駅の直通便の増)
5. 上郡駅のICOCA機導入
6. 駅舎のバリアフリー化の促進
7. 上郡駅舎の美化清掃、周辺整備
8. 他市町も含めた山陽本線・智頭線沿線の観光名所ネットワークづくり
9. 駅発ウォークイベントの開催
10. 上郡町内の観光名所・イベント等の魅力アップ
11. その他

JRの利用促進方策としては、「上郡駅・姫路駅の直通便の増」が約8割の方から、「姫路・岡山間の直通電車の増」が約7割の方から挙がりました。これに「上郡駅のICOCA機導入」が続いています。

(n=3045)

区分	実数	比率
4.(直通)上郡姫路	2,496	82.0%
3.(直通)姫路岡山	2,240	73.6%
5.ICOCA	963	31.6%
8.ネットワーク	600	19.7%
10.観光名所等	532	17.5%
2.購入促進	412	13.5%
6.バリアフリー	164	5.4%
7.美化周辺整備	158	5.2%
1.広報活動	142	4.7%
9.ウォークイベント	105	3.4%
11.その他	219	7.2%
計	8,031	



年齢別で見ると、いずれの年齢層においても「(姫路または岡山間の)直通電車の増」が非常に多くなっていますが、特に「ICOCA機導入」は40歳代を中心に回答が多くなっており、自らの通勤での利便性に加え、高校生等を持つ親世代としての声も反映されているものと思われます。

(40歳代の回答者375人のうち、高校生・専門学校生が家族に含まれる方は145人・・・38.7%)

区分	4.(直通)上郡姫路	3.(直通)姫路岡山	5.ICOCA	左記以外	計	n	4.(直通)上郡姫路	3.(直通)姫路岡山	5.ICOCA
10歳代	11	7	9	5	32	11	100.0%	63.6%	81.8%
20歳代	35	36	21	34	126	46	76.1%	78.3%	45.7%
30歳代	170	160	98	156	584	224	75.9%	71.4%	43.8%
40歳代	302	265	200	225	992	375	80.5%	70.7%	53.3%
50歳代	517	486	272	431	1,706	643	80.4%	75.6%	42.3%
60歳代	821	695	230	814	2,560	976	84.1%	71.2%	23.6%
70歳以上	618	568	128	650	1,964	745	83.0%	76.2%	17.2%
計	2,474	2,217	958	2,315	7,964	3,020			



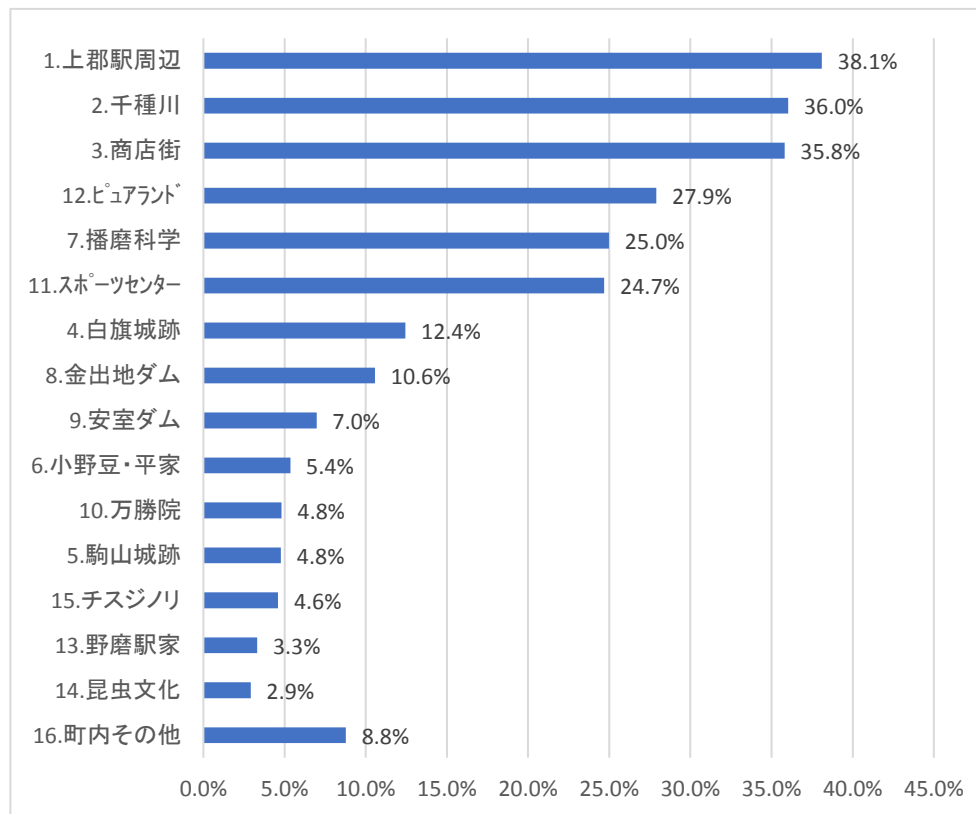
問16 今後、どのような場所を整備・保全すれば、上郡町の魅力が高まると考えられますか。(3か所)

1. 上郡駅周辺    2. 千種川    3. 町内商店街    4. 白旗城跡    5. 駒山城跡    6. 小野豆高原・平家塚    7. 播磨科学公園都市  
 8. 金出地ダム周辺    9. 安室ダム周辺    10. 万勝院周辺    11. スポーツセンター    12. ピュアランド山の里周辺    13. 野磨駅家跡周辺  
 14. 昆虫文化館    15. チスジノリの保護・環境整備    16. 町内のその他

上郡町の魅力を高めるための今後の整備・保全場所としては、「上郡駅周辺」「千種川」「町内商店街」等が挙がりました。

(n=2782)

区分	実数	比率
1.上郡駅周辺	1,060	38.1%
2.千種川	1,002	36.0%
3.商店街	996	35.8%
12.ピュアランド	776	27.9%
7.播磨科学	695	25.0%
11.スポーツセンター	687	24.7%
4.白旗城跡	346	12.4%
8.金出地ダム	294	10.6%
9.安室ダム	194	7.0%
6.小野豆・平家	149	5.4%
10.万勝院	134	4.8%
5.駒山城跡	133	4.8%
15.チスジノリ	128	4.6%
13.野磨駅家	92	3.3%
14.昆虫文化	81	2.9%
16.町内その他	244	8.8%
計	7,011	



地区別に見ても上記3か所の回答が多くなっていますが、山野里、梨ヶ原地区では特に「ピュアランド山の里周辺」が多く、梨ヶ原地区はさらに「野磨駅家跡周辺」、鞍居地区では「播磨科学公園都市」「金出地ダム周辺」が多くなるなど、いくつかの地区で特徴的な傾向が見られました。

区分	1.上郡駅周辺	2.千種川	3.商店街	7.播磨科学	8.金出地ダム	12.ピュアランド*	13.野磨駅家	左記以外	計	n
上郡	159	168	166	80	44	73	8	242	940	378
山野里	388	277	291	190	47	316	20	618	2,147	858
高田	102	135	111	77	31	78	7	255	796	318
高田台	155	165	147	103	38	101	11	329	1,049	412
鞍居	83	64	77	117	94	37	3	178	653	249
赤松	78	104	103	55	20	65	7	239	671	262
船坂	70	72	73	50	13	66	11	183	538	220
梨ヶ原	19	12	17	14	2	33	23	30	150	60
光都	0	1	0	1	0	0	0	1	3	1
計	1,054	998	985	687	289	769	90	2,075	6,947	2,758

区分	1.上郡駅周辺	2.千種川	3.商店街	7.播磨科学	8.金出地ダム	12.ピュアランド*	13.野磨駅家
上郡	42.1%	44.4%	43.9%	21.2%	11.6%	19.3%	2.1%
山野里	45.2%	32.3%	33.9%	22.1%	5.5%	36.8%	2.3%
高田	32.1%	42.5%	34.9%	24.2%	9.7%	24.5%	2.2%
高田台	37.6%	40.0%	35.7%	25.0%	9.2%	24.5%	2.7%
鞍居	33.3%	25.7%	30.9%	47.0%	37.8%	14.9%	1.2%
赤松	29.8%	39.7%	39.3%	21.0%	7.6%	24.8%	2.7%
船坂	31.8%	32.7%	33.2%	22.7%	5.9%	30.0%	5.0%
梨ヶ原	31.7%	20.0%	28.3%	23.3%	3.3%	55.0%	38.3%
光都	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問17 あなたは上郡町からの情報をどのようにして入手していますか。(主なもの2つまで)

1. 広報かみごおり    2. 町ホームページ    3. 役場への問い合わせ    4. ケーブルテレビ    5. 観光案内所    6. 公民館  
 7. 知り合いから聞く    8. フェイスブックなどSNS    9. その他(具体的に)

町からの情報の入手先として、9割以上の方が「広報かみごおり」を挙げられました。また半数近くの方が「ケーブルテレビ」とも回答されています。

(n=3055)

区分	実数	比率
1.広報紙	2,820	92.3%
4.ケーブルテレビ	1,473	48.2%
7.知り合い	587	19.2%
2.町HP	279	9.1%
6.公民館	132	4.3%
3.役場問合せ	120	3.9%
5.観光案内所	25	0.8%
8.フェイスブック等	8	0.3%
9.その他	40	1.3%
計	5,484	

